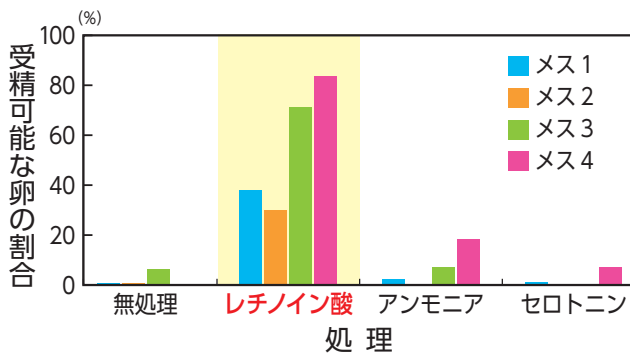


# タイラギの人工受精法を開発

タイラギは貝柱がおいしい高級な二枚貝です。しかし、天然の貝が激減してしまい、稚貝を人工的に生産して養殖する技術が求められています。水産研究・教育機構は、親貝から受精卵を計画的に採るための人工受精法の開発に取り組んできました。

ほとんどの二枚貝は、繁殖期に卵と精子を体外に放出し海中で受精します。しかし、親貝から人工的に取り出した卵と精子を混ぜ合わせることも受精卵が得られることはまれです。取り出した卵が受精できる状態にないからです。いくつかの二枚貝ではアンモニアやセロトニンなどの物質により卵を受精可能な状態にできますが、タイラギには効きませんでした。しかし今回、レチノイン酸（ビタミンAの代謝産物）を用いることで、受精可能な卵を得られることが分かりました（図）。この方法で得ら



れた受精卵からは正常な幼生が育っています。今後は、なぜレチノイン酸に効果があるのかを調べるとともに、得られた幼生を稚貝まで育て、成長に問題がないことを確認する予定です。

図 レチノイン酸処理による受精可能な卵の割合の変化  
レチノイン酸処理では、受精可能な卵の割合が増加します



※この成果は、生物系特定産業技術研究支援センター「イノベーション創出強化事業」の「高級二枚貝タイラギの先端的養殖技術の開発」によるものです。

## 刊行物報告

おさかな瓦版 No.85

発行時期：2018年9月 内容：アミノコギリガザミ 問い合わせ先：経営企画部 広報課  
ウェブサイト URL <http://www.fra.affrc.go.jp/bulletin/letter/no85.pdf>



### 執筆者一覧

#### ■水産資源評価の現状とこれから

- 水産業の成長へ向けた資源評価・管理の推進..... 研究推進部 養松 郁子
- 水産資源の評価と管理目標..... 中央水産研究所 資源研究センター 資源管理グループ 市野川桃子
- 水産資源が変動する仕組みを解明..... 研究推進部 杉崎 宏哉
- 沿岸漁業に貢献する情報ネットワークを構築..... 中央水産研究所 伊藤 正木
- 国際的な資源の評価手法..... 国際水産資源研究所 くらまぐろ資源部 くらまぐろ資源グループ 中塚 周哉
- 資源評価の重要性を消費者に伝える SH"U"N プロジェクトの挑戦！..... 研究推進部 大関 芳沖

#### ■研究成果情報

- タイラギの人工受精法を開発..... 増養殖研究所 養殖システム研究センター 増養殖環境グループ 松本 才絵